

新潟県労働金庫 ディスクロージャー誌

ROKIN DISCLOSURE

2020



共生社会の実現をめざし 「会員」「勤労者とその家族」「地域」をつなぎ 福祉金融機関としての役割を發揮します

皆様には、日頃より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、罹患された皆様、生活に影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

このたび、当金庫のディスクロージャー（経営内容の開示）誌2020年版を作成いたしました。当金庫の事業方針や活動内容をまとめたこの冊子により、皆様から〈ろうきん〉に対するより一層のご理解を賜れば幸いに存じます。



◆持続可能な社会へ向けて

〈ろうきん〉は、昭和20年代、労働者が銀行からお金を借りるのが難しい時代に、皆が資金を出し合い、助け合いの金融機関として誕生し、当金庫も1952年の創立以来、一貫して勤労者の社会的・経済的地位の向上と福祉の増進のために事業を推進してまいりました。

2015年9月に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の運動は、日本国内でも広がりを見せ、自治体、企業や学校等でも持続可能な社会を実現するための取り組みが始まっています。SDGsの考え方に通じる「金融包摂」は、〈ろうきん〉の設立経過や、理念とも合致するものであり、2019年度に当金庫は「新潟ろうきんSDGs達成に向けた行動ビジョン」を策定し、SDGs国際目標の取組期間である2030年までを見据えて、取組みをスタートさせるための態勢整備を行ってまいりました。

〈ろうきん〉の事業運営や提供する商品・サービス等が、ろうきんの理念やSDGsの考え方に沿ったものであるか適宜検証し、福祉金融機関の〈ろうきん〉にしかできない社会的役割を果たしてまいります。

◆さまざまな活動を通じて皆様に〈笑顔〉と〈安心〉を

2019年度は、「中期経営計画2017」(2017年度~2019年度)の最終年度として、「働く人に寄り添いながら、働く人とそのご家族に笑顔と安心をお届けする」というビジョンに基づき、事業活動に取り組んでまいりました。中期経営計画の諸課題については、一部課題を残したものの概ね計画を達成し、金融を取り巻く環境が厳しさを増すなか、業容も順調に推移することができました。

2019年度の活動を振り返りますと、会員推進機構が中心となり、地域の特性を生かした子ども向けの体験イベントの開催やエリア内で連携した独自キャンペーンを展開したほか、NPO等と連携した地域活動への参加や若年層を対象とした交流会など、さまざまな団体と連携して運動基盤を一層強固なものとし、参加者や地域に〈笑顔〉が広がる活動を幅広く展開しました。加えて、老後の生活資金や将来不安を背景とした資産形成に関する相談ニーズが高まるなか、会員と連携した資産形成セミナーを積極的に開催し、会員構成員の〈安心〉につながる取組みを展開してまいりました。

改めて、ご協力いただきました会員・組合員・利用者・関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



◆皆様が安心して暮らせる未来へ

2020年度から、前中期経営計画の考え方を継承し、各種取組みをさらに発展させた内容として策定した「中期経営計画2020」（2020年度～2022年度）と、会員と協働で取り組む「あんしんスマイルプロジェクト」がスタートしました。「あんしんスマイルプロジェクト」は、中期経営計画を達成させるための大きな取組みの一つと位置付け、はたらく仲間・子どもたち・地域社会の皆様が安心して暮らせる未来を実現するために、会員推進機構と一体となって取組みを推進してまいります。

これら3か年の計画と今年度の事業計画を連動させ、4つの基本方針である「会員と協働した運動展開」「勤労者に寄り添った対応」「非営利協同セクターとの連携」「お客様に役立つ行動の徹底」のもと事業を進めてまいります。

◆「新しい生活様式」を踏まえた事業推進

さらに今年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い「新しい生活様式」を踏まえた長期的な対応が求められ、感染拡大の第2波、第3波が懸念される状況下、業務の見直しを含む感染防止対策の推進と、雇用や収入が厳しい状況となった勤労者に対する生活支援策の拡充にも取り組んでまいります。

〈ろうきん〉をご利用の皆様および職員の安全と健康を第一に、社会基盤として金融業務を継続させるとともに、未曾有の事態で生活が困窮する勤労者に対して、寄り添い親身に対応し可能な限りの支援を行ってまいります。

今こそ、金融包摂の考え方のもと福祉金融機関としての役割を果たし、皆様の期待に応えられるよう、役職員一同、全力で取り組んでまいりますので、従来にも増してご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月

理事長 齋藤 敏明

contents | 目次 |

事業方針

- 02 ろうきんの理念と基本姿勢
- 03 中期経営計画2020
- 04 2020年度事業計画
- 05 SDGs達成に向けた行動ビジョン
- 06 あんしんスマイルプロジェクト
- 08 お客様本位の業務運営に関する取組方針

業績ハイライト

- 10 事業の概況

社会的役割の発揮と貢献活動

- 12 CSR(企業の社会的責任)への取組み
- 12 福祉金融機関としての取組み
- 14 地域社会のために
- 19 環境のために

営業のご案内

- 20 預金商品のご案内
- 21 資産運用商品のご案内
- 22 融資商品のご案内
- 24 各種業務・サービスのご案内
- 26 手数料のご案内

プロフィール

- 28 組織・機構
- 30 沿革・あゆみ
- 31 全国ろうきんの概要

各種管理態勢

- 32 コンプライアンス(法令等遵守)の態勢
- 34 お客様保護の態勢
- 37 金融円滑化管理の態勢
- 37 リスク管理の態勢

財務データ

- 40 財務諸表
- 45 自己資本の充実の状況(単体)
- 53 業務実績
- 57 連結情報

店舗のご案内

- 58 店舗・プラザのご案内
- 60 店舗外キャッシュサービスコーナーのご案内

- 61 索引(法定開示項目別)

当金庫の概要

2019年度末(2020年3月31日)現在

名 称	新潟県労働金庫(略称:ろうきん)
本 店 所 在 地	新潟市中央区寄居町332番地38
創 立	1952年6月7日
出 資 金	49億4,978万円
店 舗 数	27店舗(出張所・インターネット支店含む)
常 勤 役 職 員 数	451人
団 体 会 員 数	2,054会員
間 接 構 成 員 数	203,152人
預 金 残 高	8,254億円
融 資 残 高	3,842億円